

地区番号:1 地区名 :旧市(幸町) 杉浦家文書目録

分類:Ⅳ－3 教育・文化－宗教・習俗

調査日:平成29年10月
No.

文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量
1	Ⅳ 3	明治41年11月1日 (1908)	(庚申講御日待帳)	○当番:河原崎卯之吉 ●記載なし	便宜的に、明治41年11月1日の他、同43年11月3日、同44年4月20日等開講の庚申講書き上げを綴る。	8丁、綴り	横帳	1
2	Ⅳ 3	明治44年6月19日 (1911)	(庚申講御日待帳)	○当番:天上又蔵 ●記載なし	はじめに、記として当番天上又蔵が明治44年6月19日開講の庚申講諸費、出欠席、収支等を書き上げる。もと横帳仕立てで綴り紐欠損、1丁のみ。	1丁	横帳	1
3	Ⅳ 3	明治44年11月吉日 (1911)・亥	庚申講御日待帳	○寄附人:山田茂兵衛 ●記載なし	はじめに、記として当番山田茂兵衛が明治44年7月25日開講の庚申講諸費、出欠席、収支等を書き上げる。以下、大正6年11月14日までの開講日ごとに記す。	34丁	横帳	1
4	Ⅳ 3	大正7年1月 (1918)	庚申講御日待帳	○寄附人:浜田 ●記載なし	はじめに、記として大正7年1月の当番が出欠席、庚申講諸費、収支等を書き上げ、以下、大正8年7月までの開講日ごとに記す。	8丁	横帳	1
5	Ⅳ 3	大正8年5月8日 (1919)	(庚申講御日待帳)	○当番:土屋元吉 ●記載なし	大正8年5月の当番土屋元吉が庚申講諸費、出欠席、収支等を書き上げる。久米合名会社の縦罫紙に記入。もと横帳仕立てで綴り紐欠損、1丁のみ。	1丁	横帳	1
6	Ⅳ 3	大正9年1月3日 (1920)	(庚申講御日待帳)	○当番:天上又蔵 ●記載なし	大正9年1月3日の当番天上又蔵が庚申講諸費、出欠席等を書き上げ、以下、同年3月8日、11月4日開講ごとに記す。表紙欠損、3丁のみ。	3丁	横帳	1
7	Ⅳ 3	大正9年4月20日 (1920)	(庚申講御日待帳)	○当番:梅野荘作 ●記載なし	はじめに、記として大正9年4月20日開講の庚申講諸費、収支、出欠席等を記す。もと横帳仕立てで綴り紐欠損、1丁のみ。	1丁	横帳	1
8	Ⅳ 3	大正9年7月 (1920)	庚申講御日待帳	○幸町区連名 ●記載なし	幸町区は、現島田市庁舎南側に当たる。はじめに、講中11名を挙げ、当番が出欠席、講諸費等を書き上げ、以下、昭和7年10月までの開講日ごとに記す。	52丁	横帳	1
9	Ⅳ 3	昭和6年1月 (1931)・未	庚申講御日待帳	○幸丁神道連中 ●記載なし	はじめに、15名の連名(途中、仲間の出入りあり)を挙げ、昭和6年1月5日の当番芹沢金語が出欠席、講諸費等を書き上げ、以下、昭和27年1月5日までの開講日ごとに記す。後半は、収支のみの記載が多い。	13丁、以下白紙	横帳	1
10	Ⅳ 3	昭和7年11月 (1932)	庚申講御日待帳	○幸町区連名 ●記載なし	はじめに、幸町庚申講資産改正とあり、13名の講中連名を記す。以下、12月14日開講の当番出欠席、講諸費等を書き上げ、昭和16年9月までの開講日ごとに記す。	32丁	横帳	1
11	Ⅳ 3	昭和7年11月 (1932)	幸町庚申講	○記載なし ●記載なし	幸町庚申講改正の下書き。昭和7年11月現在の資産、講諸費・収支等を記す。		状	1
12	Ⅳ 3	6月19日	(庚申講御日待帳)	○海野惣平 ●記載なし	6月19日開講の講諸費、収支、出欠席等を書き上げる。もと、横帳仕立てで綴り紐欠損、1丁のみ。	1丁	横帳	1